



お寺とお宮の

発電プロジェクト

宗教都市・京都の
発電チャレンジ

地域の安心は、
お寺とお宮でつくる



地域災害対策の拠点
地域の災害対応力
向上に貢献します



TERA Energy

エネルギーの地産地消
環境問題や地域の
暮らしに貢献します



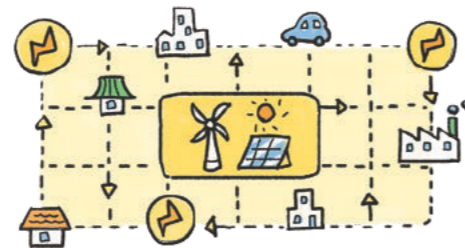
用語解説



脱炭素先行地域

脱炭素先行地域

2050年カーボンニュートラルに向けて国が進める取組のひとつで、地域特性に応じた取組の実施により、2030年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを先行して実現していく地域です。



京都広域再エネグリッド

京都市脱炭素先行地域へ安定的に再生可能エネルギー100%電力を供給するとともに、余剰電力の融通、需給調整も行いながら、同地域内で再エネ電力の地産地消を進める仕組みを構築するものです。また、これらを通じて地域コミュニティの活性化に資する活動も支援していきます。

Contact

075-874-4851 (携帯電話から通話料有料)

お問い合わせ

0120-598-116 (固定電話からフリーダイヤル)



TERA Energy 株式会社

〒615-0854 京都市右京区西京極堤外町 18-124



公式HP

お寺とお宮の発電プロジェクトとは？

私たちは、生活をより便利にし、物質的な豊かさを求めるあまり、自然に大きな負担をかけてきました。

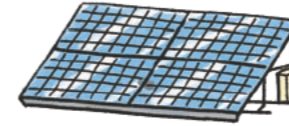
一方で、寺院や神社は「小欲知足」を実践し、長年にわたり自然を守り、自然と共に生きることの大切さを伝えてきました。こうした暮らしや営みをさらに展開させ、市民の生活様式に結び付けることが期待されています。

そこで本プロジェクトでは、宗教都市・京都ならではの取り組みとして、寺院や神社に太陽光発電と蓄電池を設置します。地域コミュニティの中心となってきた寺院や神社が太陽光発電と蓄電池を備えることで、地域災害対策の拠点となり、心身さらにはエネルギーの拠り所になることを目指します。

※なお本プロジェクトは、弊社が京都市と締結した脱炭素先行地域に係る「京都広域再エネグリッド」の構築に関する連携協定に基づき実施するものです。京都市で寺院・神社での脱炭素転換モデルをつくり全国に展開します。



導入のメリット



0円で太陽光発電を設置

エネルギーを「つくる」ために、初期費用を負担します。



0円で蓄電池を設置

エネルギーを「ためる」ために、初期費用を負担します。



調光機能付きLED設置費用の2/3を補助

エネルギーの使用量を「へらす」ために、費用の2/3を補助します。

導入による地域貢献

地域災害対策の拠点となって安心安全な地域づくり



緊急時の電力供給

太陽光発電と蓄電池を備えることで、停電時や災害発生時などの緊急時における電力供給が可能となるため、住民はより安心して暮らすことができます。

住民の防災意識向上

設置された太陽光発電や蓄電池が、地域の緊急時における電力供給に貢献することが広く知れ渡れば、住民は防災に対する意識を高めることができます。

エネルギーの地産地消で自給自足した地域づくり

地球温暖化防止

エネルギーの輸送に伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が削減され、地球温暖化の防止につながります。同時に、化石燃料による大気汚染も減少し、大気中の有害物質の浄化や健康被害の軽減につながります。

エネルギー安全保障

輸入エネルギーに頼る必要がなくなり、エネルギー安全保障を確保することができます。また、エネルギーの供給安定性が高まり、エネルギー事故や停電などのリスクも低減されます。



設置・発電までの流れ

